



フューチャーズ24情報・マンスリーレポート 2017年11月号

◆10月の相場概況

●金相場

・NY金

10月前半は12月米利上げ観測が強まり下落、6日に2カ月ぶりの安値となる1262.80ドルを付けた。ただ、その後は北朝鮮と中東情勢をめぐる地政学的リスクなどで買われ上昇、16日に1308.40ドルの高値を付けた。

10月後半は為替のドル高や世界的な株高などを背景に投資家のリスク選好姿勢が強まる一方、安全資産とされる金が売られたことで、27日には1260ドル台前半まで下落。

・東京金

10月前半はNY相場安で10日に約1カ月半ぶりの安値となる4586円に下落した後、NY相場高で買われ上昇し16日には4682円の高値を付けた。10月後半はNY金と円相場との綱引きとなる中、4600円台でのみ合いとなった。

●白金

NY白金は月初に自動車触媒用需要の減退懸念などで売られ906.50ドルの安値を付けた。ただ、その後は売りが交錯する中、900ドル台前半から半ばでのみ合いとなった。

東京白金はNY相場と円相場との綱引きとなる中、3300円から3400円の狭い範囲でのレンジ取引に留まった。

●NY原油

OPEC主導の協調減産延長期待や中東情勢をめぐる地政学的リスクで買われ、総じて右肩上がりの展開となり、31日には54.85ドルの高値を付けた。

●穀物相場

シカゴ大豆は1000セントを回復する場面もあった。シカゴ・コーンは年初来安値を更新

◆11月の相場見通し

●金相場＝世界的な株高と12月米利上げ観測が重し

NY金は世界的な株高傾向や12月米利上げ観測が重しになりそうだ。ただ、米政治情勢の先行き不透明感や北朝鮮と中東情勢をめぐる地政学的リスクに支えられることで下値は限定的で、投資家のリスク選好姿勢が弱まれば上昇に転じることが予想される。

●白金相場＝上値重い展開に

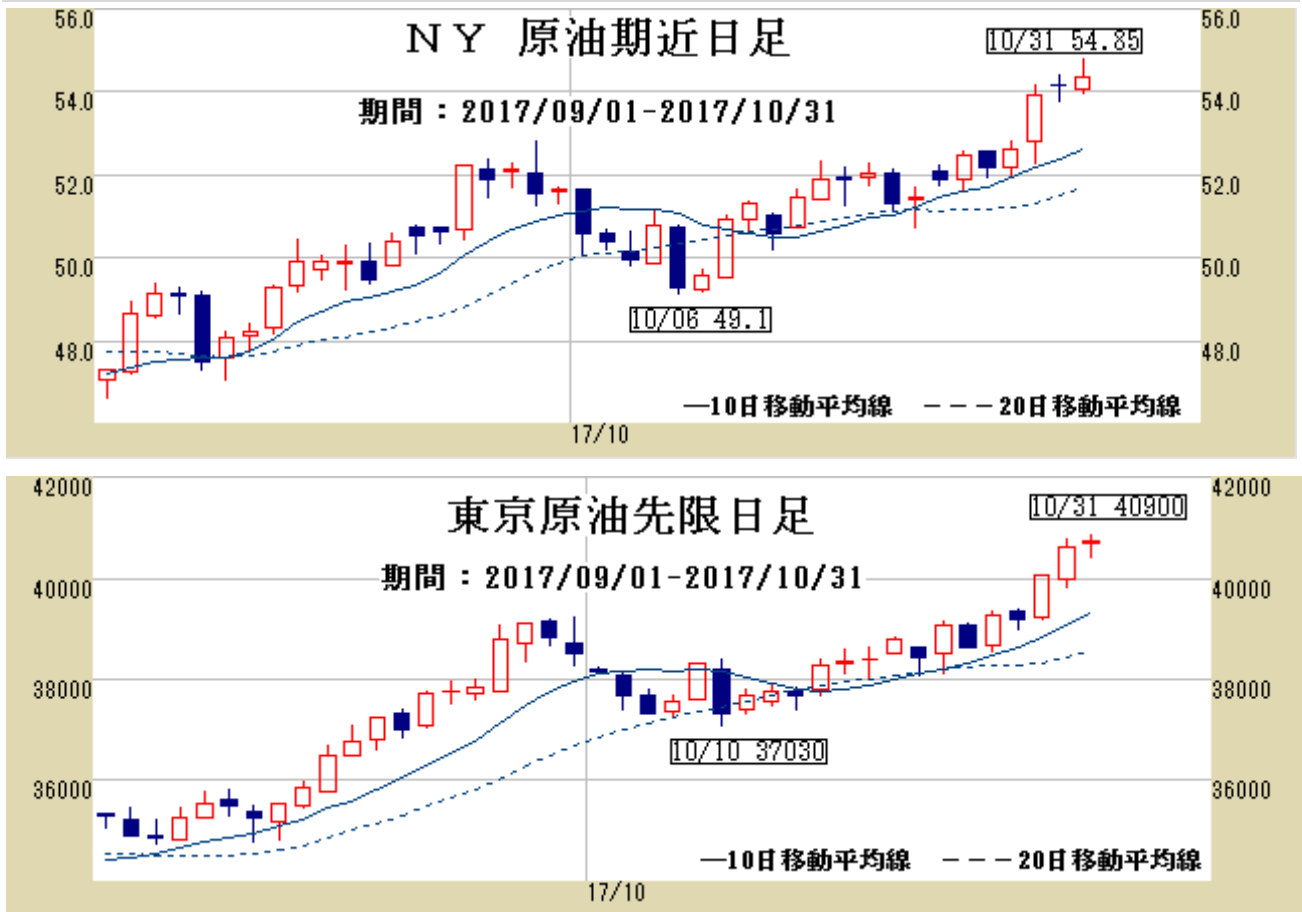
世界的な環境規制の強化で電気自動車（EV）の普及に期待が高まる中、ディーゼル車やガソリン車の排ガス除去装置の触媒に用いられる白金やパラジウムの需要減少懸念が強まっており、上値重い展開になることが予想される。

●原油相場＝60ドル回復の可能性も

11月末のOPEC総会で減産延長が正式に決定されるようなら、2015年6月下旬以来となる60ドルの節目回復が現実味を帯びてくる。

●穀物相場＝大豆は1000セント台を窺う場面も

シカゴ大豆は米大豆の生産高の下方修正見通しや中国向け需要拡大期待で、1000セント台を窺う場面が予想される。



◆原油相場概況（10月）

●NY原油＝総じて右肩上がりの相場展開

10月前半は、9月の石油輸出国機構（OPEC）産油量が前月より増加したことや、米国のシェールオイル増産に拍車がかかるとの見方を背景に、世界的な供給過剰感が改めて意識されたことから売り優勢となり、一時は50ドルの節目を割り込んだ。

しかしその後は、イラク中央政府と同国北部クルド自治区との情勢不安を背景とした供給混乱懸念が強材料視されたほか、トランプ米大統領がイランの核合意順守を認めない判断を示し、米国とイランの間に緊張が走ったことも相場を支援。OPEC主導の協調減産が延長されるとの期待も相場の下支え要因となり、50ドルの節目を再度回復した。

10月後半は、利益確定の売りや米シェールオイルの増産予測に頭抑えられる場面もあったが、全般的にはクルド自治区情勢の緊迫化やOPEC主導の協調減産延長期待により支えられた前半終盤の流れを継続。米石油リグ（掘削装置）稼働数の減少傾向を好感する向きからの買いも見受けられた。

加えて、OPECの盟主サウジアラビアが減産延長に前向きな姿勢を強く打ち出したほか、OPEC非加盟の主要産油国ロシアもこれに追随したことから買いの流れはますます強まり、31日の取引では54.85ドルまで上昇。1月3日に付けた年初来高値55.24ドルが視野に入った。

◆原油相場展望

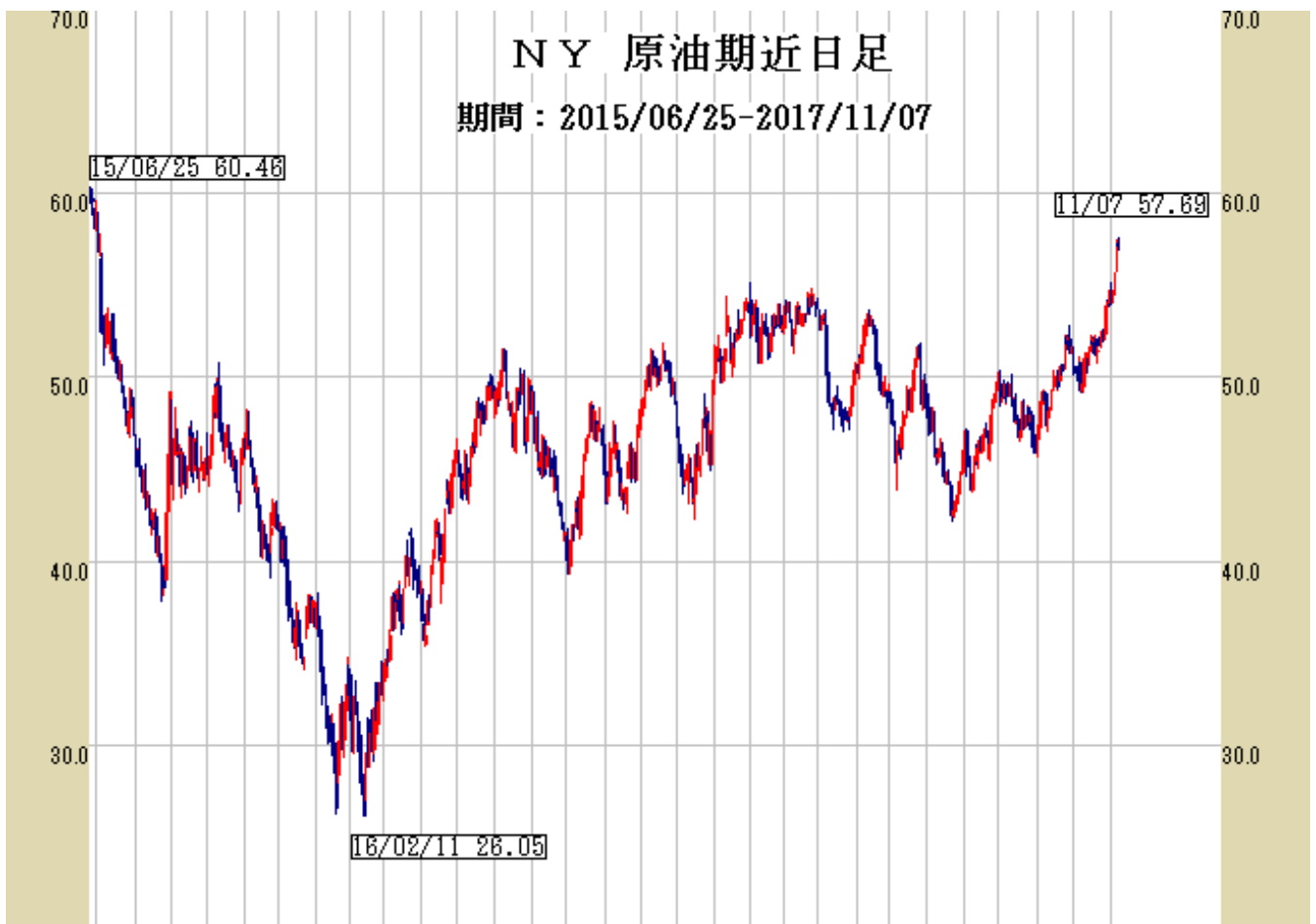
●NY原油＝60ドルの節目回復の可能性も

11月に入ってからのNY原油市場は、協調減産延長期待などを背景に値を伸ばした10月後半からの流れを引き継いだほか、米石油リグ稼働数の減少も買い材料視され、3日の取引では1月3日高値を上抜き年初来高値を更新。その後もサウジアラビアの政情不安による原油供給混乱懸念などによりさらに値を伸ばし、2015年7月上旬以来の高値水準となる57ドル台まで上昇した。

米国では原油価格が回復しつつあることからリグ稼働数の減少に歯止めが掛かるとの見方が始まっている上に、米国でのシェールオイル生産は2018年も増えるとの見方も根強い。さらに、原油在庫も依然高水準であることから供給過剰感は燻っているため、これらの今後の動向には注意を要する。

一方、イラク中央政府とクルド自治区の対立やイラン核合意をめぐる米国とイランの緊張により中東情勢が緊迫化する中、サウジアラビア次期国王と目されるムハンマド皇太子による「粛清」の動きが熾烈になっていることで中東情勢をめぐる地政学的リスクはますます高まる格好。こうした背景から原油供給への不安が燻っている上に、OPEC主導の協調減産が延長されるとの期待感が日増しに高まっていることも原油相場を強く支えている。

米国での供給過剰感は気がかりではあるものの、中東情勢の緊迫化や協調減産延長期待を踏まえると、11月のNY原油はさらに値を伸ばす展開になると予想。11月末のOPEC総会で減産延長が正式に決定されるようなら、2015年6月下旬以来となる60ドルの節目回復が現実味を帯びてくる。



◆原油需給動向

●イランめぐる緊張、世界的な原油供給にとって長期的な脅威＝ゴールドマン

米金融大手ゴールドマン・サックスは10月17日のレポートで、米国とイランの緊張が世界的な原油供給にとってより大きく、より長期にわたる脅威になるとの見方を示した。また、イラク情勢の混迷により、クルド人自治区からの石油生産が脅かされるリスクも指摘した。

イラクでの戦闘激化により供給が脅かされる一方で、米国とイランの政治的な緊張関係が懸念され、石油市場ではリスクプレミアムが回復した。レポートは「イランの場合、産油量に直ちに影響が出る公算は小さいが、米国による制裁の再発動をめぐる不透明感が依然強い。制裁となれば、数十万バレル規模のイラン産原油輸出がすぐにリスクにさらされる」と予想した。

トランプ米大統領は13日、イランによる核合意の順守を認定するのを拒否し、議会に60日以内にイラン制裁の再発動を決めるよう求めた。ゴールドマンは、他の国々の支持なしに、イランの産油量が日量100万バレル低下し、制裁解除前の水準まで落ち込むとは考えにくいと分析した。

一方で「クルド人自治区の場合は、キルクーク油田地帯の日量50万バレルがリスクにさらされている。これまでに35万バレル相当の操業が止まったとの報道があるが、この件は依然、はっきりしない」と指摘。地政学的な緊張の高まりで起こり得る相場への影響に関しては、日量50万バレルの供給停止が3カ月間続いたり、25万バレルの停止が6カ月続けば、原油価格は1バレル当たり2.50ドル押し上げられる可能性があるとの見方を示した。

●OPECの10月産油量、前月比8万バレル減＝イラクの輸出落ち込む

ロイター通信の11月1日の調査によると、石油輸出国機構（OPEC）加盟国の10月の産油量は、日量平均3278万バレルと前月から8万バレル減少した。イラク北部からの輸出が減少したことに加え、非OPEC諸国が減産合意を順守したため。

OPECの減産順守率は92%と前月の86%から上昇。サウジアラビアが引き続き目標を上回る減産を行ったほか、経済が低迷するベネズエラも産油量がさらに減った。OPECは11月30日の総会で、2018年までの減産合意延長を決めるとみられている。

10月の減産幅が最も大きかったのはイラクで、日量12万バレル減少した。イラク政府軍が、クルド自治政府が実効支配していた油田を奪還し、10月中旬に生産量が落ち込んだ。経済の悪化により石油産業の資金繰りに支障が出ているベネズエラでは、目標量を上回る減産となった。減産を免除されているナイジェリアとリビアの10月の合計生産量は前月並みだった。

●米石油リグ稼働数は減少傾向＝最新週は16年5月以来の減少幅

米石油サービス会社ベーカー・ヒューズが毎週金曜日に公表している、同国内の1週間の石油リグ（掘削装置）稼働数は、今年7月まで1年2カ月増加基調を維持していたが、その後ニューヨーク原油（WTI）の価格が50ドルを割り込んでからは稼働数が減少し始めている。

10月27日公表分では前週比1基増の737基。10月に入ってから初めての増加だったが、10月全体では13基減と3カ月連続のマイナス。そして最新週（11月3日公表分）では前週比8基減の729基となり、2016年5月以来の減少幅を記録した。

ただ、前年同週（450基）は依然大幅に上回っている上に、原油価格が回復しつつあることから米国のシェール業者が再び生産ペースを拡大する可能性もあるため、今後の稼働数の動向には注意を要する。なお、米エネルギー情報局（EIA）が10月16日に公表した月間の掘削生産性レポートでは、11月の国内シェールオイル生産が前月比8万1000バレル増の日量612万バレルに拡大すると予測している。

●サウジ皇太子による王族らの「粛清」熾烈に＝変革推進と基盤固めか

サウジアラビアで、次期国王と目されるムハンマド皇太子（32）による「粛清」の動きが熾烈になっている。汚職関与を理由に、11月5日までに王族メンバーや閣僚らを多数拘束。皇太子は強引な手法で保守的なサウジ社会の変革を進めるが、抵抗しかねない勢力を削ぐ狙いも透けて見える。性急な改革には反対も根強いとされ、実父のサルマン国王（81）が存命の間に、その威光を武器に基盤固めを急いでいるとみられる。

ムハンマド皇太子がトップを務め、4日に新設されたばかりの汚職摘発委員会は、王子11人や現職閣僚4人、数十人の閣僚経験者を一斉に拘束した。容疑は資金洗浄（マネーロンダリング）や贈収賄、横領、恐喝、架空雇用など多岐にわたる。国王の勅令では「汚職を根絶し、責任者を追及しなければ祖国は存在し得ない」と不正撲滅への決意を強調した。

汚職摘発委員会は、縁故主義や賄賂といった数十年にわたって経済をゆがめていた旧弊を打破することを目標に掲げているが、摘発対象には過去数十年にわたり非石油分野の産業を築いてきた同族企業のトップなど、サウジ有数の財界人も含まれているため、一斉摘発の動きにはリスクも伴う。もしこの同族企業からの投資が今後数カ月でなくなれば多くの産業が打撃を受ける恐れがあり、原油安と緊縮財政ですでに景気後退に陥っているサウジにとっては大きな痛手となる。

ムハンマド皇太子は2015年に副皇太子に就き、石油依存脱却を目指す改革プラン「ビジョン2030」を推進しているが、原油安などで財政難が続き、改革の歩みは停滞気味。外交面でもイエメン内戦への介入や対カタール断交を主導したが、手詰まり感は否めない。6月に皇太子に昇格した際も、渋る前皇太子に交代を迫った「クーデター」と揶揄された。

サウジ情勢に詳しいエジプト人専門家アフメド・バン氏は「今回の拘束劇は、汚職対策としては評価されるべきだ」と指摘。「どの王室内でも権力争いは存在する。ただ、ムハンマド皇太子以外を支持したくても、米国など同盟国の支持を受ける皇太子以外に勝ち目のある人物はいない」と話している。

●必要ならば減産延長も、決定は差し迫ったものではない＝ロシア・エネルギー相

ロシアのノバク・エネルギー相は11月2日、OPEC主導の協調減産合意について、必要ならば延長する可能性があるが、決定は差し迫ったものではないとの考えを示した。OPEC加盟国と、ロシアなど非加盟産油国は1月以降、日量約180万バレルの減産を実施している。減産合意は来年3月までだが、サウジアラビアをはじめとした産油国は延長を検討している。

ノバク氏は、リヤドでのサウジアラビアのサルマン国王との会談後に「減産延長について協議する用意はあり、必要なら実施を考える」と述べたが、一方で「延長の決定にあたっては、状況判断のため多くのデータを分析する必要がある。決定が先になる可能性があるというのはこのためだ」と語った。

減産合意により原油相場は回復しつつあり、WTIは11月に入ってから年初来高値を更新。1バレル＝55ドル台で推移している。だが、先進国の在庫はまだ5年平均を上回っている。ノバク氏は「市場が均衡していないと判断すれば、減産を延長する」と述べた。

●ナイジェリア武装勢力、石油施設狙った攻撃再開へ＝原油生産に打撃も

ナイジェリアで活動する武装勢力「ニジェール・デルタ・アベンジャーズ（NDA）」は11月3日、油田が集まるニジェール・デルタ地区の石油施設を狙った攻撃の休止措置を解除すると表明した。NDAは2016年8月に戦闘停止を宣言。16年10、11月には攻撃を行ったが、17年に入ってから大きな襲撃はなかった。

NDAの攻撃により、OPEC加盟国であるナイジェリアの産油量は昨年、ピーク時の日量220万バレルから100万バレル近くまで激減し、少なくとも過去30年で最低水準を記録。国家財政を直撃し、ナイジェリアは昨年、25年ぶりにリセッション（景気後退）に陥った。原油はドル箱で、原油収入が歳入の3分の2を占める。

その後、NDAによる停戦や原油価格高で、今年4～6月期にようやく景気低迷から脱した。NDAはウェブサイト上での声明で「休戦を正式に取りやめた」と断言。その上で「昨年の無血作戦と異なり、次は残忍で流血もいとわぬ攻撃になるだろう」と警告した。NDAは、地域指導者への「信頼を失ったこと」を停戦解除の理由に挙げた。

NDAは石油関連収益の取り分拡大を求めている。国内北東部ではイスラム過激派「ボコ・ハラム」の活動が続き、南東部では分離主義的な動きが強まっている。さらにNDAの問題が加わり、ナイジェリアの脆弱な経済成長と治安は危機にさらされている。

●原油在庫の削減で一段の取り組み必要＝サウジ・エネルギー相

サウジアラビアのファリハ・エネルギー産業鉱物資源相は11月4日、世界的な原油在庫の削減に向け、一段の取り組みが必要との見解を示した。

ファリハ氏はロシアやウズベキスタン、カザフスタンの各国石油相らと会談後に「協調減産に合意した各国の戦略には、全般的な達成感がある」と指摘。ただ「仕事を決してやり終えていないと、皆が認識している。在庫減にはなおも多くのすべきことがある。使命はまだ達成されておらず、一層実行する必要がある」と強調した。

ファリハ氏はさらに「カザフスタンのナザルバエフ大統領からも前日、同様の見解をうかがった。アジアのエネルギー相会合で、産油国すべてから聞いた見解も同様だった」と話した。マレーシアやエクアドル、ナイジェリア、リビアの当局者らも似たような見方を示したという。

また、ファリハ氏は翌5日、OPECと非OPEC産油国が協調減産を協議するためウィーンで11月30日に開く会合について、ウズベキスタンがオブザーバー参加する可能性があることを明らかにした。ウズベキスタンは原油確認埋蔵量が約5億9400万バレルと小規模な産油国で、米EIAによると2015年の石油などの生産は日量7万8900バレル。OPEC関係筋は、ウズベキスタンの関与に前向きな姿勢は、非OPEC産油国の間で協調減産への支持が増えている表れだと語った。

●OPEC事務局長：減産の延長期間について総会前に合意形成目指す

石油輸出国機構（OPEC）のバーキンド事務局長は11月7日、減産延長に反対している国はないとした上で、今月30日に開催されるOPEC総会を前に、延長期間についての合意形成を目指していることを明らかにした。

事務局長の発言は、総会で減産合意が延長される可能性が高まっていることを示唆するものだ。

バーキンド氏は記者団に対し、「来年3月に期限を迎える協調減産に関しては、30日の総会前に延長期間で何らかの合意が得られるよう、幅広い議論を行っている」と説明。また、「これまでのところ、延長に強く反対する参加国はないと聞いている」と語った。

さらに事務局長は、減産への参加を視野に入れ、複数の非加盟国も総会に呼ぶ方向で作業を進めていると明かした。ただ、具体的な国名については言及しなかった。

●OPEC：石油需要、増加ペース減速へ＝世界見通し

石油輸出国機構（OPEC）は11月7日発表した「世界石油見通し」で、世界の石油需要は2022年にかけて伸びるものの、増加の勢いは減速すると予測した。18年は前年度比1.4%増の日量9820万バレルとしている。

それによると、17年は1.5%増の9680万バレル、19年は1.2%増の9940万バレル、20年は1.3%増の1億0070万バレル、21年は0.8%増の1億0150万バレル、22年は0.8%増の1億023万バレルの見通し。

一方、世界の石油供給は17年が0.7%増の9650万バレル、18年が1.7%増の9810万バレル、19年が1.5%増の9960万バレル、20年が1.5%増の1億0110万バレル、21年が0.6%増の1億0170万バレル、22年が0.8%増の1億0250万バレルとしている。

OPECの石油供給は17年が3240万バレル、18年が3280万バレル、19年が3310万バレル、20年が3370万バレル、21年が3340万バレル、22年が3350万バレルと予想した。OPECは今年1月から3250万バレルを産油上限とする減産を行っている。

◆2017年10月の価格データ

* 東京金は夜間取引を含んだ価格、27日からは2018.10月限。* NY金は中心限月。

日	東京金				NY金				ドル建て金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	4646	4651	4607	4612	1282.20	1282.80	1272.00	1275.80	1279.10	1279.20	1270.05	1270.72
3	4610	4613	4595	4606	1273.10	1277.40	1271.00	1274.60	1270.56	1274.56	1267.76	1271.60
4	4606	4610	4601	4608	1274.50	1285.00	1273.10	1276.80	1271.26	1282.04	1270.46	1274.31
5	4607	4620	4602	4610	1277.50	1281.60	1268.50	1273.20	1274.76	1279.02	1266.50	1267.65
6	4610	4618	4590	4597	1270.60	1279.20	1262.80	1274.90	1268.36	1276.46	1260.16	1275.30
9					1278.60	1288.00	1277.70	1285.00	1275.25	1285.30	1275.01	1283.90
10	4597	4653	4586	4645	1286.80	1296.70	1284.60	1293.80	1283.96	1294.25	1281.90	1287.46
11	4646	4656	4641	4646	1290.70	1295.90	1286.80	1288.90	1287.81	1293.46	1284.02	1291.70
12	4643	4667	4633	4666	1294.60	1299.80	1291.80	1296.50	1291.81	1297.40	1289.27	1293.40
13	4666	4668	4649	4660	1296.00	1306.40	1292.90	1304.60	1293.33	1304.47	1290.63	1304.47
16	4655	4682	4648	4674	1306.00	1308.40	1292.50	1303.00	1303.14	1306.07	1290.27	1294.00
17	4677	4681	4646	4648	1297.20	1298.40	1283.20	1286.20	1294.93	1296.28	1281.31	1284.81
18	4645	4645	4621	4625	1286.90	1290.80	1278.60	1283.00	1284.78	1288.68	1276.73	1280.77
19	4627	4642	4622	4633	1282.80	1292.80	1277.60	1290.00	1280.86	1290.30	1276.22	1289.40
20	4640	4664	4632	4657	1292.00	1292.90	1279.30	1280.50	1289.17	1291.08	1277.48	1280.33
23	4651	4665	4649	4651	1281.50	1284.70	1273.60	1280.90	1277.07	1283.28	1271.86	1281.68
24	4650	4672	4643	4661	1283.90	1285.30	1274.80	1278.30	1281.62	1283.66	1273.04	1276.33
25	4661	4662	4642	4647	1278.00	1281.30	1272.00	1279.00	1276.45	1279.99	1270.63	1277.01
26	4644	4669	4644	4660	1278.60	1283.80	1266.40	1269.60	1277.18	1282.42	1265.32	1266.73
27	4634	4637	4629	4636	1268.00	1275.20	1263.80	1271.80	1267.32	1274.05	1263.35	1272.60
30	4633	4642	4626	4627	1274.30	1279.90	1269.80	1277.70	1273.20	1278.90	1268.41	1275.86
31	4626	4636	4624	4628	1277.60	1279.10	1268.30	1270.50	1275.91	1277.98	1267.63	1271.20

* 東京白金は夜間取引を含んだ価格、27日からは2018.10月限。* NY白金は中心限月。

日	東京白金				NY白金				ドル建て白金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	3351	3356	3311	3316	914.40	920.70	911.70	916.60	912.00	916.90	904.50	910.50
3	3316	3332	3303	3332	915.10	919.30	909.80	915.50	912.00	916.30	902.40	907.50
4	3331	3333	3307	3331	915.40	925.90	912.90	914.80	908.50	922.80	905.00	912.50
5	3328	3341	3314	3319	917.50	921.00	912.10	918.00	914.80	918.00	905.50	911.00
6	3321	3337	3308	3335	917.30	922.10	906.50	916.70	911.50	919.30	899.50	913.00
9					918.60	925.00	914.50	918.20	911.50	922.20	906.75	911.50
10	3339	3359	3310	3352	920.30	937.20	918.70	936.50	915.00	933.90	911.25	929.00
11	3355	3385	3349	3378	934.70	938.40	930.50	933.20	926.00	934.90	922.70	928.00
12	3379	3395	3358	3387	935.80	943.10	935.70	941.80	930.00	940.00	928.00	933.00
13	3391	3405	3385	3386	941.30	949.40	938.80	947.90	932.50	946.10	930.50	944.00
16	3388	3410	3383	3401	947.00	950.90	930.60	942.10	941.00	947.50	922.95	928.50
17	3400	3412	3357	3365	933.70	938.90	928.40	934.80	930.00	935.70	921.50	930.00
18	3365	3384	3352	3364	937.20	938.30	922.50	924.60	918.00	935.40	915.25	918.00
19	3363	3372	3340	3346	923.70	931.50	920.00	925.90	921.10	928.60	912.50	921.50
20	3351	3367	3344	3364	926.70	928.40	921.00	926.80	923.50	925.80	913.00	920.24
23	3358	3379	3358	3375	925.30	929.30	916.00	927.20	917.50	927.40	909.00	921.00
24	3368	3394	3352	3392	927.90	932.70	921.40	925.50	920.50	930.60	914.50	920.00
25	3388	3394	3365	3372	926.50	926.90	914.50	926.70	923.00	924.40	907.50	919.99
26	3362	3390	3357	3379	926.00	930.30	919.00	922.10	918.50	927.50	911.85	917.40
27	3370	3372	3360	3363	920.40	924.00	912.90	914.60	917.20	921.60	906.50	914.50
30	3365	3379	3343	3353	916.90	924.00	916.50	922.70	912.00	921.50	909.50	916.24
31	3349	3365	3344	3364	922.30	927.70	916.80	919.60	919.90	925.10	909.95	915.24

* 東京原油は夜間取引を含んだ価格。 * NY原油は中心限月。

日	東京原油		2018.3月限		NY原油		2017.11月限 23日から12月限		ドル・円			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	38210	38270	38080	38160	51.64	51.71	50.07	50.58	112.64	113.05	112.43	112.70
3	38070	38210	37350	37700	50.59	50.73	50.14	50.42	112.75	113.19	112.62	112.84
4	37700	37850	37310	37330	50.16	50.67	49.76	49.98	112.84	112.93	112.32	112.75
5	37350	37730	37220	37580	49.88	51.22	49.85	50.79	112.74	112.90	112.41	112.80
6	37590	38350	37590	38310	50.75	50.82	49.10	49.29	112.81	113.43	112.59	112.63
9					49.25	49.79	49.13	49.58	112.58	112.74	112.32	112.69
10	38180	38450	37030	37310	49.55	51.06	49.54	50.92	112.67	112.82	111.99	112.44
11	37410	37830	37270	37680	50.94	51.42	50.61	51.30	112.42	112.58	112.08	112.51
12	37550	37980	37430	37770	51.00	51.13	50.15	50.60	112.46	112.52	112.12	112.28
13	37770	37890	37360	37700	50.73	51.72	50.70	51.45	112.27	112.30	111.69	111.86
16	37800	38450	37640	38270	51.43	52.37	51.35	51.87	111.83	112.28	111.64	112.18
17	38300	38630	38070	38360	51.93	52.25	51.21	51.88	112.18	112.47	112.03	112.20
18	38380	38670	37960	38400	51.94	52.33	51.69	52.04	112.19	113.05	112.12	112.93
19	38530	38880	38460	38800	52.05	52.17	51.07	51.29	112.91	113.14	112.30	112.52
20	38630	38640	38050	38450	51.42	51.73	50.70	51.47	112.51	113.56	112.50	113.48
23	38510	39180	38090	39050	52.07	52.30	51.68	51.90	113.86	114.09	113.24	113.40
24	39050	39140	38650	38650	51.89	52.62	51.55	52.47	113.42	114.01	113.25	113.91
25	38680	39390	38520	39270	52.56	52.57	51.89	52.18	113.89	114.24	113.47	113.77
26	39350	39440	38960	39190	52.19	52.86	51.91	52.64	113.72	114.07	113.33	114.01
27	39230	40110	39160	40070	52.80	54.20	52.25	53.90	113.96	114.44	113.63	113.69
30	40000	40830	39770	40610	54.16	54.46	53.75	54.15	113.71	113.83	113.03	113.17
31	40700	40900	40370	40720	54.08	54.85	53.93	54.38	113.16	113.72	112.95	113.65

* シカゴ穀物は中心限月。

日	シカゴ大豆		2017.11月限		シカゴ・コーン		2017.12月限		ユーロ・ドル			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	967.50	968.00	956.25	957.25	354.75	356.25	351.00	351.50	1.1790	1.1814	1.1729	1.1732
3	956.75	961.25	952.50	955.25	351.50	351.50	348.75	349.50	1.1732	1.1772	1.1695	1.1746
4	955.25	961.75	952.75	958.25	349.25	349.50	346.00	348.25	1.1740	1.1787	1.1734	1.1758
5	958.25	971.00	957.75	968.25	348.25	351.25	347.50	349.50	1.1756	1.1778	1.1698	1.1710
6	968.00	973.75	963.50	972.25	349.25	351.00	348.50	350.00	1.1710	1.1738	1.1669	1.1736
9	974.50	977.00	965.25	966.75	350.50	351.75	348.00	349.50	1.1726	1.1755	1.1719	1.1740
10	966.25	975.75	964.25	966.00	349.00	351.25	348.25	349.25	1.1739	1.1824	1.1738	1.1811
11	965.50	967.50	963.50	965.25	348.75	349.00	345.50	346.00	1.1806	1.1869	1.1794	1.1862
12	965.00	997.75	959.00	992.00	346.00	354.00	342.50	349.00	1.1856	1.1879	1.1827	1.1827
13	991.00	1003.25	990.25	1000.25	348.50	353.50	348.25	352.75	1.1829	1.1874	1.1804	1.1822
16	998.00	999.00	990.25	991.00	352.75	353.25	349.75	350.50	1.1810	1.1819	1.1780	1.1795
17	990.00	990.50	982.50	984.75	350.25	351.75	348.50	350.00	1.1795	1.1799	1.1736	1.1766
18	984.75	988.50	981.75	984.25	350.25	350.50	347.75	348.50	1.1765	1.1805	1.1730	1.1789
19	983.75	989.00	983.00	986.50	348.75	351.50	348.50	349.00	1.1787	1.1857	1.1768	1.1851
20	985.25	994.25	978.00	978.75	349.00	350.00	344.25	344.50	1.1850	1.1857	1.1762	1.1782
23	977.00	982.75	975.00	980.75	344.25	351.75	343.00	351.25	1.1764	1.1777	1.1724	1.1750
24	980.00	983.00	972.75	975.50	351.00	353.00	349.50	352.75	1.1747	1.1792	1.1741	1.1763
25	975.75	983.25	975.25	975.50	352.50	355.25	350.50	351.00	1.1759	1.1817	1.1752	1.1812
26	975.50	978.75	970.25	971.25	350.75	352.00	349.50	350.50	1.1811	1.1836	1.1640	1.1655
27	971.00	976.50	969.75	975.25	350.25	350.25	347.50	348.75	1.1649	1.1657	1.1574	1.1606
30	975.25	981.50	971.25	972.75	348.50	349.75	347.25	348.75	1.1606	1.1657	1.1593	1.1652
31	972.75	977.50	971.00	973.75	348.00	348.75	345.50	345.75	1.1649	1.1660	1.1624	1.1646

* 東京一般大豆、とうもろこしは夜間取引を含んだ価格。

日	東京一般大豆		2018.10月限 16日から12月限		NYダウ工業株30種平均			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	46460	46670	46220	46470	22423.47	22559.38	22416.00	22557.60
3	46470	46470	46000	46070	22564.45	22646.32	22562.90	22641.67
4	46080	46080	46010	46010	22645.67	22685.94	22632.80	22661.64
5	46050	46360	45920	46190	22669.08	22777.04	22655.14	22775.39
6	46190	46450	46040	46250	22762.03	22773.67	22730.85	22773.67
9					22779.73	22803.37	22739.38	22761.07
10	46250	46730	46160	46730	22784.76	22850.51	22770.99	22830.68
11	46680	46680	46250	46340	22827.65	22872.89	22821.66	22872.89
12	46380	46600	46280	46600	22854.85	22884.82	22821.13	22841.01
13	46600	47150	46600	46900	22876.43	22905.33	22855.93	22871.72
16	47750	48010	47750	47990	22892.92	22960.12	22887.12	22956.96
17	47960	47960	47960	47960	22952.41	23002.20	22948.23	22997.44
18	47960	47960	47440	47700	23087.13	23172.93	23086.75	23157.60
19	47680	48400	47440	47990	23107.47	23167.24	23052.67	23163.04
20	47990	48230	47710	48130	23205.18	23328.84	23201.78	23328.63
23	48130	48130	47910	47950	23348.95	23368.37	23273.96	23273.96
24	47950	48190	47860	48130	23346.78	23485.25	23343.23	23441.76
25	48130	48390	47860	48180	23431.09	23451.51	23251.11	23329.46
26	48180	48180	48010	48010	23380.89	23459.84	23380.89	23400.86
27	48010	48300	47900	47900	23419.16	23449.40	23353.16	23434.19
30	47900	47900	47700	47760	23405.75	23428.75	23327.87	23348.74
31	47660	47670	47550	47550	23369.22	23406.35	23334.39	23377.24
日	東京とうもろこし		2018.11月限 16日から1月限		日経平均株価			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	21250	21480	21220	21480	20400.51	20411.33	20363.28	20400.78
3	21490	21490	21250	21290	20475.25	20628.38	20438.17	20614.07
4	21250	21320	21160	21200	20660.81	20689.08	20592.18	20626.66
5	21230	21320	21180	21300	20650.71	20667.47	20602.26	20628.56
6	21290	21330	21230	21330	20716.85	20721.15	20659.15	20690.71
9								
10	21320	21390	21250	21320	20680.54	20823.66	20663.08	20823.51
11	21290	21320	21240	21270	20803.71	20898.41	20788.12	20881.27
12	21270	21270	21200	21260	20958.18	20994.40	20917.04	20954.72
13	21250	21440	21210	21420	20959.66	21211.29	20933.00	21155.18
16	21450	21650	21440	21630	21221.27	21347.07	21187.93	21255.56
17	21650	21680	21510	21530	21352.17	21393.96	21230.67	21336.12
18	21560	21690	21520	21680	21374.66	21402.76	21317.67	21363.05
19	21670	21800	21640	21780	21450.04	21503.85	21381.52	21448.52
20	21770	21850	21720	21790	21390.95	21489.26	21363.10	21457.64
23	21760	21780	21560	21640	21709.30	21723.60	21614.51	21696.65
24	21640	21910	21630	21890	21670.00	21805.17	21646.52	21805.17
25	21900	22080	21870	22040	21900.13	21921.36	21648.35	21707.62
26	22000	22120	21970	22040	21698.95	21793.62	21688.56	21739.78
27	22010	22140	22000	22100	21903.27	22016.50	21815.72	22008.45
30	22090	22100	21860	21880	22047.95	22086.88	21921.24	22011.67
31	21900	21900	21780	21810	21897.29	22020.38	21840.07	22011.61

マンスリー予定表(経済・商品11月)

現地日付	日本時間	発表内容
8日(水)	12:00	10月の中国貿易統計 トランプ大統領が中国訪問(8日~10日)
9日(木)	10:30 10:30 10日 2:00	10月の中国消費者物価指数(前年比) 10月の中国卸売物価指数(前年比) 11月1日現在の米農務省・穀物需給報告
10日(金)	11日 0:00	11月の米シガン大学消費者信頼感指数・確定値 アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議(10日~11日)
13日(月)	14日 4:00	10月の米財政収支 石油輸出国機構(OPEC)・石油市場月報
14日(火)	11:00 11:00 19:00 22:30 22:30	10月の中国小売売上高(前年比) 10月の中国鉱工業生産(前年比) 今年第3四半期のユーロ圏GDP・改定値 10月の米卸売物価指数 同コア指数 国際エネルギー機関(IEA)・石油市場月報
15日(水)	8:50 22:30 22:30 22:30 22:30	今年第3四半期の日本GDP・1次速報 10月の米小売売上高 10月の米消費者物価指数 同コア指数 11月のニューヨーク連銀・製造業景況指数
16日(木)	19:00 22:30 23:15 23:15 17日 0:00	10月のユーロ圏消費者物価指数・確定値(前年比) 11月のフィラデルフィア連銀・製造業景況指数 10月の米鉱工業生産指数 10月の米設備稼働率 11月の全米住宅建設業協会(NAHB)住宅建設業者信頼感指数
17日(金)	22:30	10月の米住宅着工件数
20日(月)	8:50 21日 0:00	10月の日本貿易統計 10月の米景気先行指数
21日(火)	22日 0:00	10月の米中古住宅販売件数
22日(水)	22:30 23日 0:00 23日 4:00	10月の米耐久財受注 11月の米シガン大学消費者信頼感指数・確定値 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(10月31日~11月1日分)
23日(木)		日本市場休場(勤労感謝の日) 米国市場休場(感謝祭)
24日(金)	23:45	11月の米製造業PMI(購買担当者景況指数)・速報値 米商品、株式、債券市場は短縮取引(感謝祭翌日)
27日(月)	28日 0:00	10月の米新築住宅販売件数
28日(火)	23:00 29日 0:00	9月のS&P/ケース・シラー米住宅価格指数 11月の米消費者信頼感指数
29日(水)	22:30 30日 4:00	今年第3四半期の米国内総生産(GDP)・改定値 米地区連銀景況報告
30日(木)	10:00 19:00 22:30 22:30 22:45	11月の中国PMI(製造業購買担当者景況指数) 11月のユーロ圏消費者物価指数・速報値(前年比) 10月の米個人消費支出 10月の米個人所得 11月のシカゴ購買部協会景況指数 石油輸出国機構(OPEC)総会

(注) 上記の予定は予告なく変更される事があります。

重要事項のご説明

※本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性・信頼性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供を目的としており、相場見通し等の確実性を保証するものではありません。なお、本レポートに記載されている内容の著作権は、原則として、当社およびその他情報提供者に帰属します。著作権法により、当社およびその他情報提供者に無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ掲載等することはできません。ご利用になりたい場合は、後述のお問い合わせ先にご連絡ください。

※商品先物取引は元本及び利益が保証されるものでなく、取引額が当社必要証拠金に比べて最高でおよそ40倍と大きいため、損失の額がお預り証拠金の額を上回るリスクもあります。又、相場変動や日数の経過によって追加預託が必要になる場合もあります。お取引を始める前に契約締結前交付書面をよくお読みになり、取引内容を十分ご理解の上、ご自身の判断と責任によりお取引下さい。

※ 当社必要証拠金の額は1枚当たり最高で**150,000**円、手数料は1枚当たり最高で**24,840**円(税込)となりますが、相場の変動によって変更される場合もあります。詳しくはその都度お問い合わせ下さい。
(平成29年11月1日現在)

※ 当社お客様相談窓口

(東京本社) **TEL0120-770-266**

※ 日本商品先物取引協会相談センター **TEL03-3664-6243**

※当社の企業情報は本・支店及びHP、並びに日本商品先物取引協会のHPでご覧頂けます

当社HPアドレス <http://www.dai-ichi.co.jp/>

日本商品先物取引協会 <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※ 当資料記載の情報内容およびお取引に関するお問い合わせは、お取引店(担当者)またはフューチャーズ24 (TEL**03-3462-8056**) までご一報ください。土・日・祝を除く毎日24時間体制でお応えしております。

※ 他の当社資料をお求めの場合は、

フリーダイヤル **TEL0120-431-561**

または、HPの資料請求フォーム <http://www.dai-ichi.co.jp/present/>
からお申込みください。

加入協会／日本商品先物取引協会 (一社)金融先物取引業協会

商品先物取引業者 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第279号

第一商品株式会社

本社所在地 150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1

代表電話番号 **TEL03-3462-8011**